

No.  
125

# みんなの目・芽・めっ

2025年  
12月

発行 特定非営利活動法人 住みよいあさくらをめざす風おこしの会 理事長 師岡愛美

## ——風おこしのゆく年・くる年——

令和7年も数日で新年を迎えます。地震や佐賀関の火災等今年も災害の多い一年でしたが、会員の皆様にはお変わりなくお過ごしのことと思います。

「総会にも行けないけれど、良い活動だから会費はカンパの気持ちで」「目・芽・めっ」の広報紙が届くのを楽しみにしている」と激励の言葉を戴き、当紙面上で心から感謝申し上げます。

発足当初からの会員であり現役世代であった私自身も、年が明ければ80歳!! 生涯現役を目標に実行委員の皆さんと会の趣

旨・目的前進のための努力を重ねているところです。

しかし他の組織同様当会においても高齢化が進み、賛助会員8名を含め現在50名と会員数が減少。来年度は若者世代を中心に会員拡大、会員を対象とした楽しい・元気の出る計画を事業の一つに加えたいと思っています。

皆様のお知恵をお寄せください。会員の皆様がお元気に新年を迎えられますことを祈念しています。

(理事長 師岡 愛美)

## ▶『ジェンダー平等ネット春日』を訪ねて◀

10月6日(日)春日市男女共同参画センターじよなさんを拠点として活動する『ジェンダー平等ネット春日(近藤幸恵会長)』との交流視察を実施しました。

現在会員は

●新日本婦人の会(平和を守る活動 女性の願いを届ける運動)

●生活学校(フードドライブ 廃油石けん作り・販売 段ボールコンポスト)

●翼の会春日(ジェンダー平等の推進 市長との懇談)

の3団体、個人会員16名、賛助会員5名の総勢123名で活動中。

・今年度のテーマを「あなたとキラリ！」として「アンコンシャス・バイアスに誰もが気づく啓発」を展開することを目指し、

ショッピングセンターや祭りでの街頭啓発に積極的に取り組む。

・春日市の審議会への委員の参加

・「今年のキラリ人」として、商工会を通してジェンダー平等に寄与する企業を紹介する

との活動報告を頂いた。

あすばるでの「福岡県ジェンダー平等フォーラム」(旧あすばるフォーラム)に毎年企画参加される『ネット春日』の皆様方にあらためて敬意を表します。(野田暁子)



## 2025年度 女性の勇気応援！！ 連続講座

### 第1回 ～支え合いが広がる 住みよいまち～

日 時：2025年10月26日（日） 10時～

参加者：21名

会 場：朝倉地域生涯学習センター

ゲスト：神本 美恵子さん（元参議院議員、  
元小学校教諭）

高倉美紀恵さん（東峰村村議会議員）

星野洋子さん（朝倉市農業委員）



今年も昨年に引き続き女性の勇気応援講座を開催した。

今回は「ジェンダーって何だろう？」をテーマに3名の方をゲストに迎え開催した。最初に神本さんが参議院議員を3期務めた中で、元教師としての経験上、特に教育問題と、平和に対する思い（自分の教え子を戦争には行かせたくない）を常にかけていたことを語られた。そして「ジェンダー平等を阻むものは何か」について資料を基に分かりやすく説明された。

次に高倉さんより東峰村に帰ってきて区長を経験し、「村を良くするために住民の思いや要望を伝えるには議員になるしかない」と思い立候補されたこと。住民の声を届けるために、議会で一般質問をすることで要望が通ることも多くなり、遣り甲斐に繋がっていることなど話された。

最後に星野さんからは、農業に利害関係のない中立委員として市の農業委員に推薦され、様々な農業問題の課題に直面して孤軍奮闘中である事。また、育った環境や職場の異動等で男女の差があるのを不自然に感じて活動を始めたことで今に繋がっていることなどを話された。

そのあと、ゲストも参加して3グループに分かれてのディスカッションとなった。人前では自分の意見を言えない方もグループでは話しやすかったようで様々な意見が出て盛り上がっていた。また初めての女性総理が誕生した直後でもあり女性市長や女性総理の在り方についても意見が出されていた。

市町村によっては、行政への協力体制の要望なども出ていたが、女性議員が増えないことや農業の後継者不足や耕作放棄地などは共通の課題だが、簡単には解決できないとの意見も出ていた。普段こういうことを話し合う機会がないため時間が足りなかったという意見も多く2回目の講座に繋がる有意義な講座となった。

（古賀芳美）



## 2025年度 女性の勇気応援！！ 連続講座

### 第2回 ～政治の場におけるジェンダー～

日 時：11月9日（日） 10時～

参加者：25名（男性4名）

会 場：朝倉地域生涯学習センター2階会議室

ゲスト：神本 美恵子さん（元参議院議員）

中嶋 玲子さん（福岡県議会議員）

飯田 早苗さん（朝倉市議会議員）

上記3人のゲストから

- 1.自己紹介と現在取り組んでいる政策課題について
- 2.それぞれ関わっている議会でのジェンダーについて
- 3.初の女性総理大臣誕生にあたり期待されること・懸念されること



等について語っていただいた。

今年度の勇気応援講座は「ジェンダー」を基軸に企画し、今回は「政治の場におけるジェンダー」をテーマに開催。奇しくも高市首相誕生直後となり、ゲストトークの後参加者の中から役職経験上の体験談や、男性の参加者からも積極的に発言があり、時間が足りないとの意見も出される活発な議論の場となった。

1946年女性の参政権取得から79年……。1885年に内閣制度が始まって140年。初代伊藤博文から66人目にして我が国初の女性首相が誕生した。

ガラスの天井が破られた今、私たちはジェンダー問題の前進・解決に向けてどのように行動していくのか、普遍的ともいえる課題について、これからはしっかりと男女で共に考え行動（風おこし）していきたいものである。（師岡愛美）

### 女性の勇気応援Ⅱ 第2回 (R7.11.9)アンケート

参加者25名中18名提出

①どちらにお住まいかを教えてください  
朝倉市16名 筑前町2名 東峰村0名 その他0名

②年齢についてお尋ねします  
50代1名 60代1名 70歳以上16名

③ゲストトークはいかがでしたか  
大変良かった16名 良かった2名  
・それぞれの立場からはっきりと発言していただき参考になりました。  
また参加者の皆さんがそれぞれの経験を元に有意義なお話をしていただき良かったです。

④賛否わかれてのディスカッションはいかがでしたか  
大変良かった9名 良かった5名

⑤その他企画や進行などで感じられたことがありましたらご記入ください  
・この会議の紹介をはば広くできないものではないでしょうか。各地区コミュニティの事務局長の参加も期待しています。  
・自治会役員の選任方法について「市のルール」の指針を決めるように働きかけを行う」可能性はないでしょうか？

## ～風の音～

戦後80年、今の日本は、本当に平和と言えるのだろうか、ふと考える時がある。

新聞やテレビから流れてくるニュースに耳を傾けると、生活費を切り詰めるために一食でも浮かしたいと、弁当が配られているところに並ぶ人たちの姿。また、今あちこちにできている「子ども食堂」も利用しているという。

ただ空腹を満たすだけでなく、人のぬくもりを求めている人も多いと聞く。

社会がバブル期にわく頃、日本の経済も大きくふくらみ、男女雇用機会均等法で女

性の社会進出も目ざましく、働く母親・女性も多くみられるようになり、それから40年余り、地域の状況も大きく変わっていった。

隣近所とかガキ大将とか幼なじみという言葉が聞かれなくなり、地域から子どもの姿が見えなくなって久しい。そして少子化・高齢化社会、人口減少などの言葉は毎日聞いている。

外に目を向ければ、国家間の争いごとが多いなか、そのまわりで生活をしている子どもたちの様子が報道写真に写し出され、なんともやりきれなさを感じるのは、私一人では……。

(甘木地区 池田洋子)

## ◎風おこしフォーラム

日時 2026年1月25日(日) 13:30～

場所 ピーポート甘木2階 第4・第5学習室

内容 「みんなで語ろう～これまでと  
これからの私たちのまち～」



講師 加留部 貴行さん

九州大学大学院

統合新領域学府 客員教授

※多数のご参加、お願いいたします。

## 編集後記

今年はガラスの天井を打ち破り「日本初の女性総理誕生」、流行語大賞に総理の言葉「働いて……」が選ばれた。ネット世代が注目を浴び、SNSを通して分断をあおっているように見える。

混沌とした社会の中、男女共同参画を推進してきた「風おこしの会」として冷静な態度で向き合っていかなければなら

ないと考える。

古代ギリシャの叙事詩「イリアス」の一節「怒りというものは、分別ある人をもあおってたけり狂わせ、またのどにとろけ込む蜜よりもはるかに甘く、人の胸内に煙のごとく沸き立ってくる」

この詩の意味を今一度考え理解したいと思っている。  
(石井正子)

編集委員 野田暁子 石井正子 池田洋子

携帯やスマホからQRコードアプリを使って、右のQRコードを読み込めば、風おこしの会のサイトへ簡単にアクセスできます。ぜひ試してみてください。



←フェイスブック

風おこしの会HP→

